

株式会社ベティスミス

岡山県倉敷市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

ジーンズメーカーとして「日本初」「業界初」を生み出し続ける業界のパイオニア

- 織り・縫製・染めの技術を活かしたジーンズ発祥の地におけるレディースジーンズのトップメーカー
- ジーンズ製造時の残反を有効活用したジーンズ素材の小物ブランド「Eco Betty」を構築
- ジーンズの歴史等を伝える資料館やジーンズ作り体験等のコンテンツを加えた「ジーンズミュージアム&ヴィレッジ」設立

企業基本情報

所在地	岡山県倉敷市児島下の町5丁目2番70号
電話/FAX	086-473-4460/086-473-8411
URL	http://betty.co.jp/index.html
代表者	代表取締役社長 大島 康弘
設立	1962年
資本金	6,000万円
従業員数	50人



会社概要

国内初のレディースジーンズのメーカーとして1962年に国産ジーンズ発祥の地、児島に設立。以来、レディースジーンズのトップメーカーとしての地位を築き上げる一方で、ジーンズの残り布を再利用した小物のブランド「Eco Betty」の創設や「ジーンズ・ミュージアム」の開館、オーダージーンズのスタートなど、「日本のジーンズ文化の創造」を企業のミッションと定め、ジーンズ業界に積極的に新しい価値観を創出している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

ジーンズをテーマにしたアミューズメントエリアの創設

倉敷市児島は既にジーンズの聖地として知名度は高まっている。その中でも同社は独自の取組として2003年、本社敷地内にジーンズの歴史や製造工程を伝える資料館と、工場からなるジーンズミュージアムを設立。さらにジーンズ作り体験やショッピング、オーダーメイドジーンズなど来館者のニーズに合わせたコンテンツを盛り込んでジーンズミュージアム&ヴィレッジとしてリニューアルした。今ではインパウンド含めて年間5万人を超える観光名所に成長。



ジーンズミュージアム&ヴィレッジ

ジーンズ製造時の残反を有効活用した「Eco Betty」

日々多くの製品を生産するメーカーには残り布（残反）がつきものであり、同社においても残反は廃棄していたが、2002年、余った生地をそのまま捨てるのではなく、新たな商品として活かす、「Mottainai」の志向から生まれたのが「Eco Betty」と呼ばれるジーンズ素材の小物ブランド。日本製であるにも関わらず、残反を使っているので価格が安く（200円～）他社との差別化に成功し、ペンケース、小銭入れ、バッグなどが国内外からの観光客に大変人気。



Eco Betty

地域への産業観光への貢献

オーダージーンズ、残反を使った小物「Eco Betty」、体験型ジーンズなど業界初・日本初といったオリジナリティーのある取組を多く考案している。

また、本社敷地内において買い物をした来客が周辺施設（食事処・サービスエリア）で特典が受けられるデニムレシートキャンペーンを開始したり、エリア内にガーデンを整備して一般開放して随時イベント等を開催するなど、同社のみでの成長ではなく周辺エリアを含めた地域の産業観光への貢献を重視している。



デニムレシートキャンペーン